

# 参加者の声

## 蒲暦 No.20

### 「桜舞い駆け登る 形原のエーン曳き」



堤防の前はよく通るので、描き直す時はぜひ参加したいと思っていました。何を描こうか考えたとき、一般的な蒲郡のいいところではなくて、自分が残したい景色を選びました。形原神社のお祭り「エーン曳き」は、桜の中、神輿が階段を駆け上っていく様子が圧巻なんですよね。お祭りをやっている人たちにも声をかけて、40人くらいで描きました。お祭りを大事にしてきた人た

ちにも、絵でその想いを残してもらえてよかったです。

堤防全体を見て、私の知らない蒲郡があって驚いたし、蒲郡にはいっぱいいいところがあるなって改めて思いました。また、それぞれの絵の向こうに歴史や未来を感じました。堤防には蒲郡の1年が季節順に描かれているので、前を通るたびに「今はこの季節だね」って楽しんでます。

## 蒲暦 No.27

### 「みかんの花が彩る豊かなまち」



地元の同級生で参加しました。堤防に絵を描くなんて、なかなかできないことだし、30年残ったらうれしいなと思って。生まれ育った蒲郡に何かを残せたらいいなと。

蒲郡らしいみかんの花やつつじをテーマにしました。実際に仕上がったのを見たときは、うれしかったです。みんなの個性が出ていておもしろかったし、いい思い出になりました。

普段は、商店街を盛り上げる“蒲蛙”として活動しています。今回このプロジェクトに参加したことで、いつもとは違う形で足跡を残せて、自分たちとしてもちょっと成長できた気がします。30年後の蒲郡を動かすのは、きっと今の自分たちだけじゃない。今の子どもたちやその未来の人たちが、このまちに新しい色を重ねていってくれたらうれしいです。

## Participants' comments